

製品名: SCARB2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86243**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:5000-1:20000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:54 kDa; Observed MW:80 kDa

抗原情報

遺伝子名	SCARB2
別名	AMRF; EPM4; LGP85; CD36L2; HLGP85; LIMP-2; LIMPII; SR-BII
遺伝子ID	950, 12492, 117106
SwissProt ID	Q14108, O35114, P27615
免疫原	ヒト SCARB2 の合成ペプチド

背景

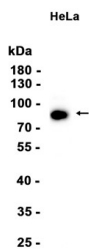
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、III型糖タンパク質であり、主にリソソームとエンドソームの境界膜に局在する。マ

ウスおよびラットにおける以前の研究では、このタンパク質が膜輸送およびエンドソーム/リソソーム区画の再編成に関与する可能性が示唆された。マウスにおけるタンパク質欠乏は、細胞膜輸送プロセスを障害し、骨盤接合部閉塞、難聴、および末梢神経障害を引き起こすことが報告された。ヒトにおけるさらなる研究では、このタンパク質は普遍的に発現するタンパク質であり、エンテロウイルス 71、おそらくはコクサッキーウイルス A16 によって引き起こされる HFMD（手足口病）の病因に関与していることが示された。この遺伝子の変異は、動作性ミオクローヌス腎不全症候群（AMRF）としても知られる常染色体劣性進行性ミオクローヌスてんかん 4（EPM4）を引き起こした。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写変異体が見つまっている。[RefSeq 提供、2011年2月]

研究分野

-

画像データ



SCARB2 ウサギモノクローナル抗体を 1:5000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。